

重

## 国際競争に打ち勝つ

### 「瀬戸内産業再生戦略」

点

山口県の瀬戸内沿岸地域には、石油コンビナート企業をはじめ日本経済を牽引してきた企業が集積し、世界に誇る高い技術力とブランド力を有しています。国際競争に打ち勝つための産業基盤の強化など、事業環境の整備を進め、本県の強みである瀬戸内沿岸の製造業の再生・強化を図ります。

戦

#### プロジェクト

- ◇物流拠点港湾施設の強化
- ◇工業用水の安定供給
- ◇物流等基盤強化の推進
- ◇付加価値の高い研究開発・設備投資の促進

略

プロジェクト	No	<b>物流拠点港湾施設の強化</b>
	1	

目標	物流拠点港湾施設の整備を推進し、県内企業の国際競争力を強化
----	-------------------------------

**現状と課題**

- 本県の港湾は、いずれも地域経済を支えるインフラ
- 特に、瀬戸内側における国際拠点港湾、重要港湾等については、産業、物流の重要な拠点
- 物流拠点港湾施設の整備による背後企業の強化が必要

**取組方針**

- 大型船舶を活用した一括大量輸送により石炭の安定的かつ安価な輸送を目指す国際バルク戦略港湾の計画実現に向け、育成プログラムに沿った取組を進めます。
- 船舶の大型化やコンテナ貨物の増加に対応した岸壁や泊地・航路等を計画的に整備します。

**具体的な取組**

取組	<input type="checkbox"/> 大型船舶による一括大量輸送、港湾連携の推進(国際バルク戦略港湾の育成プログラムに沿った整備) <input type="checkbox"/> 効率的な荷役システムの充実・強化 <input type="checkbox"/> 大規模災害時の物流拠点の確保(耐震強化施設の整備)				
	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工程表	港湾連携の推進 (国際バルク戦略港湾の整備)	・徳山下松港港湾計画の改訂		・徳山下松港新南陽地区(-12m)航路・泊地の水深確保 ・宇部港沖の山地区(-13m)航路・泊地の水深確保	
			育成プログラムに基づく整備推進		
	物流機能強化	・岩国港荷役機械設置完了 ・三田尻中関港臨港道路の供用開始	・三田尻中関港(-7.5m)泊地浚渫完了	・徳山下松港荷役機械設置完了	・徳山下松港コンテナターミナル再編強化完了
		岩国港コンテナターミナルの整備		徳山下松港コンテナターミナルの整備	
耐震強化	・徳山下松港耐震強化岸壁整備完了		・三田尻中関港耐震強化岸壁整備完了		
			耐震強化岸壁の整備		

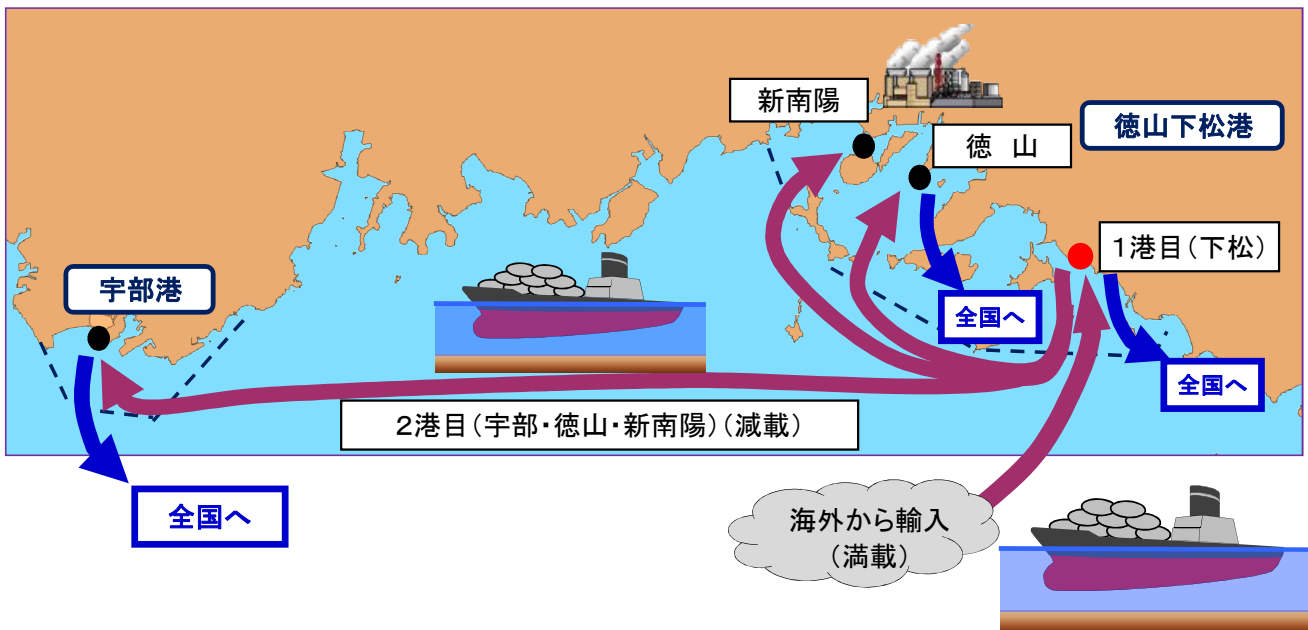
□ 物流拠点港湾の整備促進

物流拠点港湾施設の整備促進

	国際拠点港湾		重要港湾			
	徳山下松港	下関港	岩国港	三田尻中関港	宇部港	小野田港
一括輸送への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 航路・泊地の水深確保</li> <li>■ 特定貨物輸入拠点の整備</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 航路・泊地の水深確保</li> <li>■ 特定貨物輸入拠点の整備</li> <li>■ 廃棄物埋立護岸の整備</li> </ul>	
物流機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンテナターミナルの再編整備</li> <li>■ 荷役機械の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 航路・泊地の水深確保</li> <li>■ 廃棄物埋立護岸の整備</li> <li>■ 埠頭間のアクセス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多目的外買ふ頭の整備</li> <li>■ 荷役機械の整備</li> <li>■ 埠頭間のアクセス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンテナターミナルの再編整備</li> <li>■ 荷役機械の整備</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 航路・泊地の水深確保</li> </ul>
耐震強化機能の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 耐震強化岸壁の整備</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 耐震強化岸壁の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 耐震強化岸壁の整備</li> <li>■ 臨港道路(橋梁)の耐震化</li> </ul>		

県内企業の国際競争力の強化

□ 港湾連携の推進 (国際バルク戦略港湾の育成プログラムに沿った整備)



プロジェクト	No	<b>工業用水の安定供給</b>
	2	

目標	企業立地や既存企業の新たな投資計画に対応できる「安定的な工業用水の確保」
----	--------------------------------------

### 現状と課題

- 給水能力、契約水量は全国第1位
  - ・ 給水能力 約171万m<sup>3</sup>/日
  - ・ 契約水量 約159万m<sup>3</sup>/日
- 地域間で需給にアンバランス
  - ・ 周南地区：計画給水量の全量を契約済み
  - ・ 防府地区：多量の県保有水
- 渇水による慢性的な水不足
  - ・ 周南地区、宇部・山陽小野田地区：少雨による渇水により水不足が慢性化

### 取組方針

- 安定供給に向けた水資源の確保と渇水への対策に取り組みます。

### 具体的な取組

取組	<input type="checkbox"/> 和田取水の川上ダムへの一時貯留 <input type="checkbox"/> 迫戸分水・和田分水の事業化検討 <input type="checkbox"/> 新たな水資源対策の事業化検討 <input type="checkbox"/> 下松市工業用水の活用方法検討				
	取組	H25	H26	H27	H28
工程表	川上ダム一時貯留 迫戸分水・和田分水		企業局第3次経営計画において検討		→
	新たな水資源対策 下松市工業用水活用		企業局第3次経営計画において検討		→

課題

地域間での需給アンバランス、渇水による慢性的な水不足  
企業活動に悪影響

手法

水系を越えた広域的な水の活用など  
安定供給に向けた水資源の確保と渇水への対応

和田取水の  
川上ダム一時貯留

迫戸分水  
和田分水

新たな  
水資源対策

下松市工水  
の活用

工業用水の安定供給体制の確保

瀬戸内沿岸の製造業の再生・強化



プロジェクト	No	3	物流等基盤強化の推進

目標	基盤となる幹線道路網の整備等を強化し、迅速かつ円滑な物流等の実現
----	----------------------------------

**現状と課題**

- 本県の道路は、質・量とも十分な整備状況にあるとはいえず、道路整備への高い期待
- 物流等の円滑化・効率化や産業立地等に資するサービスの高い道路ネットワークの構築が必要

**取組方針**

- 地域の実情や企業ニーズ等を踏まえ、物流等基盤強化に資する道路の整備を推進します。
- 特殊車両通行許可制度を改善し、迅速かつ円滑な物流等を実現します。

**具体的な取組**

◆ 物流等基盤の強化に資する道路の整備促進

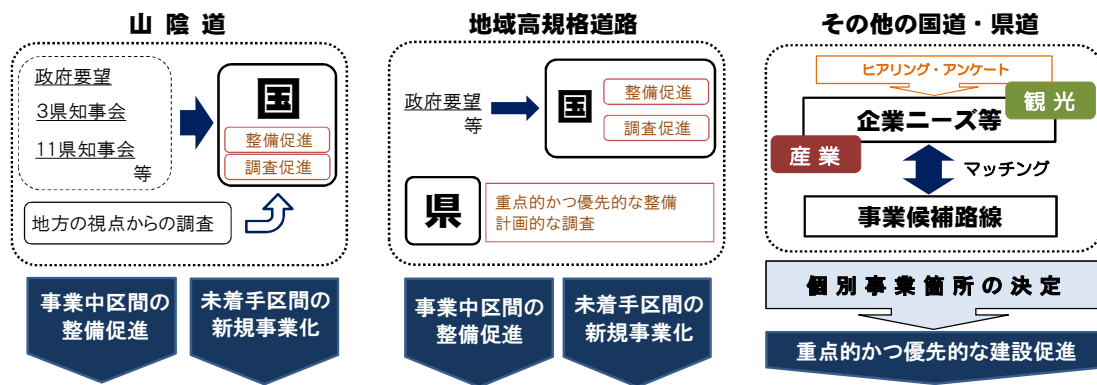
取組	<input type="checkbox"/> 山陰道の事業中区間の整備促進、未着手区間の新規事業着手 <input type="checkbox"/> 地域高規格道路の事業中区間の整備促進(うち供用3箇所)、未着手区間の新規事業着手 <input type="checkbox"/> その他国道・県道の建設促進				
	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工程表	山陰道	・優先区間の絞り込み調査			
			整備促進		
			未着手区間の早期事業化		
地域高規格道路		・下関西道路(下関北バイパス)の供用 ・小野田湾岸線の供用	・山口宇部道路(小郡JCT)の供用		
			整備促進		
			未着手区間の早期事業化		
その他国道、県道	・個別事業箇所の決定				
			建設促進		

◆ 特殊車両通行許可制度の改善による物流の効率化

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 利用者ニーズを把握するため、物流関係機関に対して輸送ルートに係るヒアリングの実施</li> <li>□ 物流の効率化を図るため、特殊車両通行許可制度の改善を国へ要望</li> <li>□ 道路法一部改正に伴う、大型車両の通行を誘導すべき道路の早期指定と、指定にあたっての利用者ニーズの反映を国へ要望</li> </ul>				
工程表	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	特殊車両通行許可制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズの把握</li> <li>・国への要望</li> <li>・輸送ルートの選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の指定</li> </ul>		

事業の概要

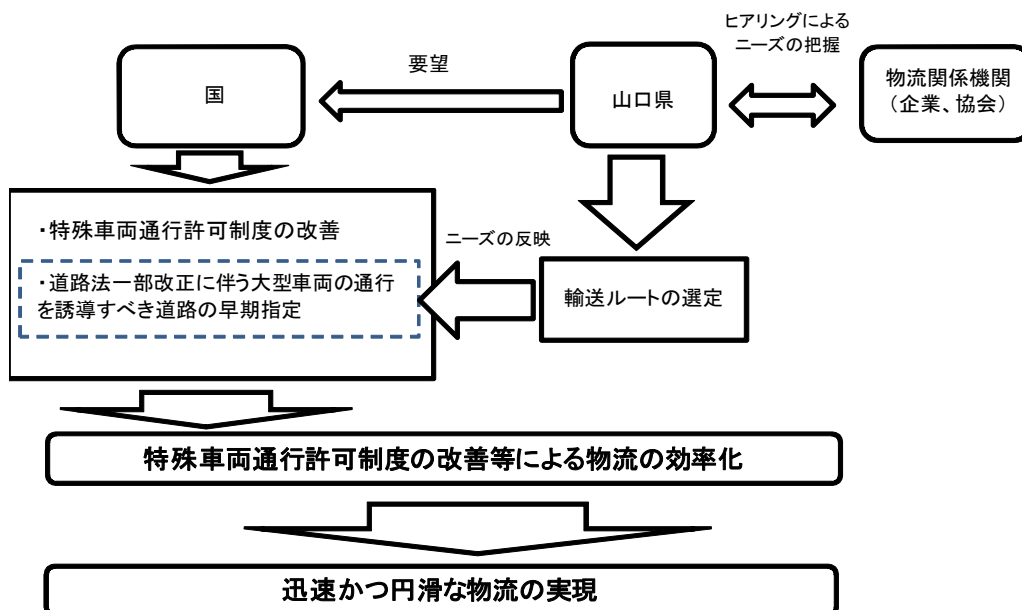
□ 物流等基盤の強化に資する道路の整備促進



物流等基盤の強化

迅速かつ円滑な物流等の実現

□ 特殊車両通行許可制度の改善による物流の効率化



プロジェクト	No	<b>付加価値の高い研究開発・設備投資の促進</b>
	4	

目標	国際競争力のある「ものづくり立県」の実現
----	----------------------

### 現状と課題

- 瀬戸内沿岸地域には基礎素材をはじめとした様々な産業が集積しているが、経済のグローバル化により、新興国とのコスト競争が激化
- 国際競争力のある付加価値の高いものづくりの継続・拡大が課題

### 取組方針

- 成長が期待される分野の付加価値の高い研究開発や事業化を支援します。
- 研究開発機能を強化し、高度な研究開発環境を提供します。
- 成長が期待される分野の企業の設備投資を積極的に支援します。
- 企業の初期投資の負担軽減に繋がる工場建屋や電力等のユーティリティを備えた工場適地を活用し、積極的な企業誘致を進めます。
- 企業ニーズを把握し、研究開発や設備投資の制約となる規制について、その緩和を国に要望します。

### 具体的な取組

取組	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 付加価値の高い研究開発や事業化への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業戦略研究開発促進補助金(仮称)」の創設を検討</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 研究開発機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な研究開発拠点機能の整備</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 工場建屋や電力等のユーティリティを備えた工場適地を活かした設備投資の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な企業誘致活動の展開(工場適地の調査、PR)</li> <li>・企業ニーズに応じた「企業立地促進補助金」の見直し</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 規制緩和 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業ニーズを把握し、国に対して研究開発や設備投資の制約となる規制について、その緩和の要望等</li> </ul> </li> </ul>
----	---



		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工程表	付加価値の高い研究開発や事業化への支援	→ 検討 →	● 「産業戦略研究開発促進補助金(仮称)」の創設		
	研究開発機能の強化	● 要望		● 先進的な研究開発拠点機能の整備	
	ユーティリティを備えた工場適地を活かした設備投資の促進		→ 検討 →	● 「企業立地促進補助金」の見直し	
	規制緩和		ニーズの把握 研究開発や設備投資の制約となる規制の緩和の要望等		

事業の概要

国際競争力のある「ものづくり立県」の実現

